

2024年10月28日

物流 2024 年問題対策 バース管理システムや LED 表示板と連携^{※1} できる 「車番認証カメラ」発売



車番認証カメラ

アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、物流 2024 年問題に対応するため、物流センターやトラックターミナルの積み下ろしスペースを管理するバース管理システムや LED 表示板と連携^{※1} できる車番認証カメラを本日より発売します。

経済産業省・農林水産省・国土交通省は、物流の適正化・生産性向上を図るため、発荷主事業者・着荷主事業者に共通する取組みとして、荷待ち時間・荷役作業等にかかる時間を把握し、計 2 時間以内に収めることを求めています。^{※2}

当社は 2020 年 4 月より AI カメラ事業に参入しています。セキュリティ強化や DX 化のニーズの高まりを受けて、店舗やオフィス、工場、倉庫などの施設で活用されています。また物流 2024 年問題に対応するため、自社工場でも積極的な対策を講じています。2021 年より「ケースコンベアシステム」を全国の自社工場に順次導入^{※3} し、自動倉庫から荷物の積み下ろしスペースまでをコンベアで繋ぎ、センサーにより荷詰めするトラックの自動振り分けも行うことで、荷待ち時間・荷役作業等にかかる時間を短縮し、物流効率が約 2～3 倍向上しています。

今回発売する「車番認証カメラ」は、バース管理システムや、車両ナンバーの事前登録によりトラックの次の動きを表示する LED 表示板と連携^{※1} し、車両のナンバープレートを自動で読み取り、登録することで、車両の滞在時間を計測できる物流 2024 年問題対策のソリューションです。受付や荷物の積み下ろしスペース・駐車場までの案内が不要になるため、発荷主事業者・着荷主事業者の業務負担を軽減し、ドライバーの手間も削減します。また、当社では、車番認証カメラの導入にあわせて、機器の設置設定、現場に合わせたモニターや表示機の提案など、物流効率改善に向けたソリューション提案も行います。

当社は今後も日本の課題を解決するジャパン・ソリューションで、快適な生活の実現に貢献していきます。

※1：バース管理システムや LED 表示板との連携はオプションです。

※2：経済産業省・農林水産省・国土交通省「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」（2023 年 6 月）

※3：大河原工場（宮城県）、つくば工場（茨城県）、米原工場（滋賀県）、鳥栖工場（佐賀県）、埼玉工場（埼玉県）に導入済。

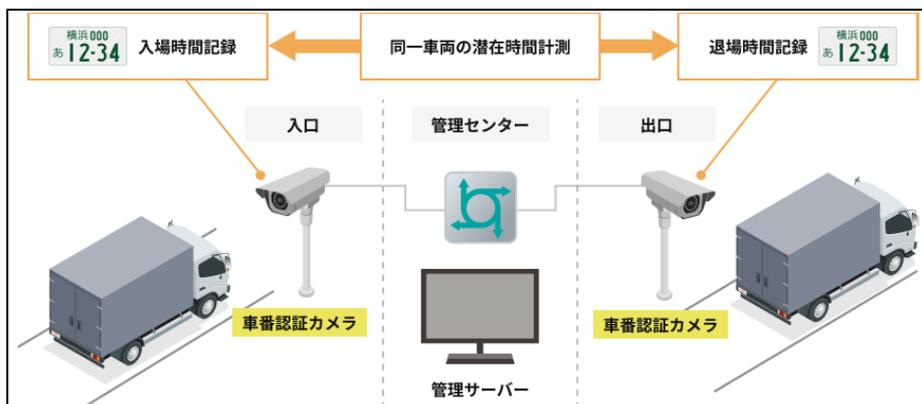
2024 年に三田工場（兵庫県）にも導入予定。

■商品特長

1. 車両のナンバープレートを自動で読み取り、登録し、車両の滞在時間を計測※1
2. トラックの次のアクションを表示する LED 表示板と連携※1

1. 車両のナンバープレートを自動で読み取り、登録し、車両の滞在時間を計測※1

「車番認証カメラ」で車両のナンバープレートを読み取った情報が、管理サーバーを通じてバース管理システムに登録され、車両の滞在時間を計測します。バース管理システムで管理することで、荷待ち時間・荷役作業等の分析や効率化が期待できます。



2. トラックの次のアクションを表示する LED 表示板と連携※1

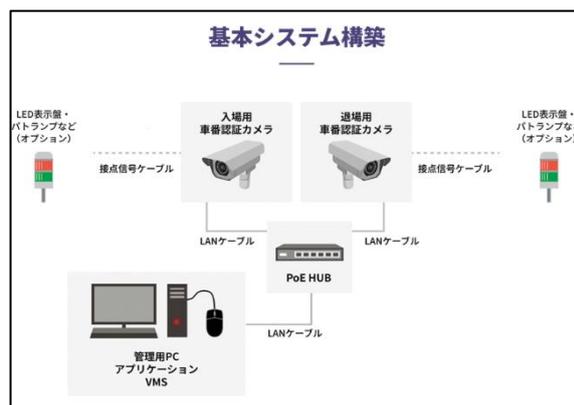
車両ナンバーの事前登録によりトラックの次のアクションを表示する LED 表示板と連携※1 できるため、受付や荷物の積み下ろしスペース・駐車場までの案内が不要となり、発荷主事業者・着荷主事業者の業務負担を軽減し、ドライバーの手間も削減します。また、登録していない車両ナンバーを読み取った場合は、所定のメールアドレスへの送信や管理パソコン上にポップアップを表示し、車両登録の促進や不審車両の特定に繋がります。



■その他の特長

- ・「車番認証カメラ」を設置するだけで車両のナンバープレートを読み取ることができます。
- ・「車番認証カメラ」で撮影した複数の映像を同一のモニターに表示できるため、省コストかつ短時間で利用開始できます。

■商品詳細、見積り、導入に関するお問い合わせ先



https://www.irisohyama.co.jp/b2b/camera/products/car-number_camera/

※1：バース管理システムや LED 表示板との連携はオプションです。

※2：経済産業省・農林水産省・国土交通省「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」(2023年6月)